

まな とき これ なら また よろこ

学びて時に之を習ふ 亦、説ばしからずや



古代(紀元前)中国の思想家孔子の有名な言葉です。3年生が国語の授業で学習し、「後輩に送る孔子の言葉」を紹介しているので1,2年生も知っていると思います。(3年生になって学習するのでお楽しみに)3年生は理解していると思いますが、この言葉の意味は「学んだことを何度も機会があるたびに復習し、自分のものにしていけるのは、なんとうれしいことではないか。」です。さて、2学期制になって初めての「前期中間考査」が終わりました。結果をもらった今こそ「学びて時に…」の言葉が響きます。間違えた問題を解き直し、「わからなかった？」ことが「できる!」に変わる瞬間に知識が体にしみこんでいくことを体得する。この「復習」によって自分の力になる実感こそが、学ぶことの本当の喜びです。点数だけに一喜一憂せず、学力を伸ばす本当の楽しさを「説ばしからずや」と味わいましょう。

【3年生が後輩に向けて紹介した言葉の中から一つ】

「徳は孤ならず。必ずとなりあり。」

徳を身に着けた人は決して一人ぼっちにはなりません。必ず寄りそってくれる人が現れます。思いやりの心を持ち、正しいことを行っていれば大丈夫です。あなたを理解し温かく見守ってくれる人が必ず現れます。(素敵ですね)



燦 たり 東郷

東郷中学校 学校だより

6 2026
月号

発行：2026/6/30
校長 神村 恭子

命を守る最前線の方々から学ぶ

6月24日

スクール救命士講習

2年生が門司消防署老松分署の救急救命士である片桐様から心肺蘇生法やAEDの使い方など、命を救うための知識や技術を学びました。「学んだことをためらわずに行動することが大切。その勇気ある行動で救われる命がある。」と教えていただきました。

今月の推し本

中島

先生の推し本!



題名 生き方の教科書

作者 藤尾秀昭 監修

出版社 到知出版社

1日1話、
読めば心が
熱くなる
365人の
生き方の
教科書

40万部突破
日本人の心を熱く燃やす
第二弾

365人の生き方や考え方が、1日1話掲載されているので、1年で1冊読めます。これからの生き方に、勇気や希望をもてる書籍です。ぜひ読んでください。

6月30日

避難訓練(火災)

〈門司消防署予防課予防係 池田 渉様 からのメッセージ〉

今、教室の中で焦げ臭いにおいを感じたら、あなたはどうしますか?東京でおきた滝野川第三小学校の火災で、授業中だった生徒や先生が骨を折るなどの大けがをして病院に運ばれました。火災が発生した場合、いかに早く対応できるかが被害の大きさを左右します。周りが静かに授業を受けている中で、「煙のにおいがする。火事なのでは?」と声を上げるのは恥ずかしいと思い、行動するのをためらってしまう人もいます。しかし、災害の現場で行動を起こさなかった場合、その選択は皆さんの命を奪ってしまうかもしれません。もし、自分ではなく誰かが声を上げた時、たとえそれが勘違いであったとしても、声を上げた人を褒めてあげましょう。失敗しても大丈夫、恥ずかしいことではないという全員の認識が、皆さんの命を守ることに繋がります。皆さんには自分で危険を判断し行動する能力があります。「指示を待つな、声を上げろ。」

命を守る

